2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　グリーンランドリゾート株式会社　　上場取引所　東 福
コード番号　　9656　　ＵＲＬ　https://www.greenland.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）松野隆徳
問合せ先責任者　（役職名）取締役執行役員経営管理室長　（氏名）冨山裕人　　ＴＥＬ　0968-66-2111

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	4,811	0.9	482	△5.8	452	△10.0	404	13.7
2025年12月期第３四半期	4,770	△1.0	511	△22.3	503	△24.8	356	△23.9

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　542百万円（42.2%）　2025年12月期第３四半期　381百万円（△17.0%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	39.15	－
2025年12月期第３四半期	34.45	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	20,280	10,930	53.9
2025年12月期	20,104	10,543	52.4

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　10,930百万円　2025年12月期　10,543百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	5.00	－	10.00	15.00
2026年12月期	－	5.00	－		
2026年12月期（予想）				10.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	8.5	780	6.1	740	3.3	500	2.6	48.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	10,346,683株	2025年12月期	10,346,683株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	9,260株	2025年12月期	9,260株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	10,337,423株	2025年12月期３Ｑ	10,337,423株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想ご利用にあたっての注意事項については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（企業結合等関係） …… 9
（重要な後発事象） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、企業を取り巻く事業環境は、物価上昇や人手不足等に加え、自然災害の発生の影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。7月28日に発生した令和8年熊本地震については、当社施設への直接的な被害は確認されなかったものの、集客に大きな影響が見られました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、2024年2月に公表した「中期経営計画2026」の最終年度を迎えるにあたり、各施設において具体的な施策を展開し、業績の向上に努めました。

業績面では、主力の九州の遊園地において春休み期間後半・ゴールデンウィークの天候不良に加え、令和8年熊本地震による交通アクセスや消費マインドへの影響により利用者数が減少し、九州のホテルにおいても宿泊キャンセルが相次ぐなど厳しい状況となりました。シルバーウィークには一定の回復が見られたものの、地震の影響からは未だ回復途上にあります。また、北海道の「ホテルサンプラザ」については、2026年7月1日付で事業譲渡を行っており、前年同期比における売上減少の要因となっております。一方、北海道の遊園地では、新アトラクションの導入やイベント開催等が奏功し、夏休み・シルバーウィークを中心に集客が好調に推移しました。北海道の遊園地の好調が寄与し、当社グループ全体の売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は4,811,806千円（前年同期比0.9%増）となりました。一方、遊園地の遊具運営に係る経費をはじめとする各種経費が増加したことにより、営業利益は482,030千円（前年同期比5.8%減）、経常利益は452,896千円（前年同期比10.0%減）となりました。また、北海道の「ホテルサンプラザ」の事業譲渡に伴い、当該事業に係る過年度の損失が税務上損金に算入されております。このため、法人税等が減少しており、親会社株主に帰属する四半期純利益は404,715千円（前年同期比13.7%増）となりました。

項　　目	当第３四半期連結累計期間（千円）	前第３四半期連結累計期間（千円）	増減額（千円）	増減率（%）
売上高	4,811,806	4,770,962	40,843	0.9
営業利益	482,030	511,967	△29,936	△5.8
経常利益	452,896	503,242	△50,345	△10.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	404,715	356,094	48,621	13.7

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

・遊園地セグメント

九州の遊園地は、開園60周年の節目にあたり、最新XR技術を活用した「ZOMBIE　STORM」を新規導入するなど、各施設のリニューアルを実施するとともに、動画クリエイターを起用したイベントを開催するなど、新規顧客層への訴求に努めました。また、3月からフリーパス料金を改定し、収益基盤の強化を図りました。一方、春休み期間後半・ゴールデンウィークの天候不良に加え、令和8年熊本地震により、夏休み・お盆の集客の山場を中心に利用者数に大きな影響が見られました。9月にはシルバーウィークの日並びによる好影響はあったものの、地震の影響からの完全な回復には至らず、利用者数は前年を下回りました。

北海道のスキー場は、降雪量不足で営業期間が短縮となり、利用者数は前年を下回りました。

北海道の遊園地は、7月より新アトラクション「ドリームスパイラル」を導入したほか、九州の遊園地同様に動画クリエイターを起用したイベントを開催するなど、集客の山場に合わせたイベントを展開しました。期間を通して天候に恵まれたことに加え、イベント開催が集客に寄与し、夏休み・シルバーウィークを中心に集客が好調に推移したため、利用者数は前年を上回りました。

この結果、北海道の遊園地の好調が売上を牽引し、当セグメントの売上高は前年同期比202,603千円増収の2,385,587千円となりました。

・ゴルフセグメント

グリーンランドリゾートゴルフコースでは、さまざまな特色あるオープンコンペを開催するなど集客に努めましたが、春季の天候不良による影響などで、利用者数は前年を下回りました。

大牟田ゴルフ場及び広川ゴルフ場では、各種コンペの増加や競技大会の開催が集客に寄与し、利用者数は前年を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比12,288千円増収の749,208千円となりました。

・ホテルセグメント

九州の「ホテルヴェルデ」は、前四半期までは宿泊者数が前年並みで推移していたものの、7月に発生した令和8年熊本地震の影響により多数の宿泊キャンセルが発生し、シルバーウィークの日並びによる好要因はあったものの完全な回復には至らず、宿泊者数は前年を下回りました。

九州の「ホテルブランカ」についても、令和8年熊本地震の影響による多数のキャンセルが発生しました。前四半期までの好調やシルバーウィークの日並びの好要因により宿泊者数は前年を上回ったものの、ホテルヴェルデ同様、地震の影響からの完全な回復には至りませんでした。

北海道の「北村温泉ホテル」は、宿泊者数・利用者数が前年を下回りました。一方、4月1日からの宿泊・日帰り入浴の料金改定により顧客単価が上昇し、売上高は堅調に推移しました。

なお、北海道の「ホテルサンプラザ」は7月に事業譲渡を実施しており、前年同期比の売上高は減少しております。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比160,913千円減収の1,264,790千円となりました。

・不動産セグメント

不動産事業は、前年7月より一部テナントの賃貸料を改定したことにより、売上高は前年同期比14,345千円増加の143,142千円となりました。

・土木・建設資材セグメント

土木・建設資材事業においては、大型土木工事の受注が減少したことに加え、ポゾテックの製造販売が低調に推移したため、売上高は前年同期比27,478千円減少の269,076千円となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、20,280,826千円（前連結会計年度末比176,022千円増加）となりました。

流動資産は、992,214千円（前連結会計年度末比32,477千円減少）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、その他（未収法人税等）が増加したものの、現金及び預金が減少したことによるものであります。

固定資産は、19,288,612千円（前連結会計年度末比208,500千円増加）となりました。これは主に、繰延税金資産が減少したものの、機械装置及び運搬具、投資有価証券が増加したことによるものであります。

流動負債は、4,898,100千円（前連結会計年度末比254,666千円減少）となりました。これは主に、未払金、賞与引当金が増加したものの、短期借入金、未払法人税等が減少したことによるものであります。

固定負債は、4,451,797千円（前連結会計年度末比43,296千円増加）となりました。これは主に、長期預り金が減少したものの、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、10,930,928千円（前連結会計年度末比387,392千円増加）となりました。これは主に、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことに加え、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想及び期末配当予想につきましては、2026年2月13日に公表いたしました数値から変更はありません。なお、業績予想及び配当予想につきましては、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、実際の業績等は今後の経済情勢の変化や事業運営におけるさまざまな状況変化によって、予想の数値と異なる場合があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	506,757	309,258
受取手形及び売掛金	311,894	419,226
商品	40,024	44,607
原材料及び貯蔵品	76,511	69,604
その他	91,916	151,907
貸倒引当金	△2,413	△2,391
流動資産合計	1,024,692	992,214
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,132,890	2,115,139
機械装置及び運搬具（純額）	577,535	623,530
土地	14,465,918	14,463,453
建設仮勘定	555,765	559,763
その他（純額）	172,742	183,738
有形固定資産合計	17,904,852	17,945,625
無形固定資産		
その他	201,695	200,583
無形固定資産合計	201,695	200,583
投資その他の資産		
投資有価証券	558,664	759,331
繰延税金資産	136,675	95,903
退職給付に係る資産	220,911	232,230
その他	57,312	54,937
投資その他の資産合計	973,563	1,142,403
固定資産合計	19,080,111	19,288,612
資産合計	20,104,804	20,280,826

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	89,246	75,340
営業未払金	159,138	181,851
短期借入金	4,316,116	4,047,460
未払金	298,843	338,348
未払法人税等	96,828	15,226
賞与引当金	－	60,254
その他	192,593	179,619
流動負債合計	5,152,766	4,898,100
固定負債		
長期借入金	2,151,538	2,240,384
長期預り金	2,135,082	2,081,882
退職給付に係る負債	8,731	9,608
その他	113,149	119,922
固定負債合計	4,408,501	4,451,797
負債合計	9,561,267	9,349,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,180,101	4,180,101
資本剰余金	4,767,834	4,767,834
利益剰余金	1,467,768	1,717,422
自己株式	△3,036	△3,036
株主資本合計	10,412,667	10,662,322
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	130,868	268,606
その他の包括利益累計額合計	130,868	268,606
純資産合計	10,543,536	10,930,928
負債純資産合計	20,104,804	20,280,826

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	4,770,962	4,811,806
売上原価	3,753,188	3,809,074
売上総利益	1,017,774	1,002,732
販売費及び一般管理費	505,807	520,701
営業利益	511,967	482,030
営業外収益		
受取利息	391	828
受取配当金	13,577	22,249
受取賃貸料	4,625	2,661
受取保険金	7,968	989
助成金収入	4,828	5,438
雑収入	6,093	5,037
営業外収益合計	37,484	37,204
営業外費用		
支払利息	46,145	66,114
雑損失	64	224
営業外費用合計	46,209	66,338
経常利益	503,242	452,896
特別利益		
固定資産売却益	5,563	4,561
収用補償金	－	122
特別利益合計	5,563	4,684
特別損失		
固定資産除売却損	6,689	3,364
事業譲渡関連費用	－	34,797
特別損失合計	6,689	38,161
税金等調整前四半期純利益	502,116	419,418
法人税、住民税及び事業税	147,804	26,169
法人税等調整額	△1,782	△11,466
法人税等合計	146,022	14,703
四半期純利益	356,094	404,715
親会社株主に帰属する四半期純利益	356,094	404,715

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	356,094	404,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,410	137,738
その他の包括利益合計	25,410	137,738
四半期包括利益	381,504	542,453
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	381,504	542,453
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　　至　2025年９月30日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設資材事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,182,984	736,920	1,425,704	128,797	296,555	4,770,962	－	4,770,962
セグメント間の内部売上高又は振替高	14,424	8,708	18,401	8,406	1,176	51,116	△51,116	－
計	2,197,408	745,629	1,444,105	137,203	297,731	4,822,079	△51,116	4,770,962
セグメント利益又は損失（△）	603,478	22,843	35,441	88,886	69,323	819,972	△308,004	511,967

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△307,660千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　　至　2026年９月30日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設資材事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,385,587	749,208	1,264,790	143,142	269,076	4,811,806	－	4,811,806
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,772	8,759	17,904	8,406	141	46,984	△46,984	－
計	2,397,360	757,968	1,282,695	151,548	269,218	4,858,791	△46,984	4,811,806
セグメント利益又は損失（△）	643,176	34,185	△36,298	104,930	49,864	795,859	△313,829	482,030

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△313,830千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	264,462千円	278,285千円

（企業結合等関係）

（重要な事業の譲渡）

当社の連結子会社である空知リゾートシティ株式会社（以下、「空知リゾートシティ」という）は、2026年３月27日開催の取締役会において、「ホテルサンプラザ」の運営事業をＧｒｏｗＸ Ｈｏｌｄｉｎｇｓ株式会社に譲渡することを決議し、2026年３月31日付で同社と事業譲渡契約を締結し、2026年７月１日に同社の完全子会社であるＳｅｅｄＣ株式会社に事業譲渡を完了いたしました。

１．事業譲渡の概要

（１）譲渡先企業の名称

ＳｅｅｄＣ株式会社

（２）譲渡した事業の内容

ホテル事業のうち、「ホテルサンプラザ」に関連する事業

（３）事業譲渡を行った主な理由

空知リゾートシティは、北海道岩見沢市において遊園地事業ならびにホテル事業を展開しております。この度、現在実行中の当社グループ「中期経営計画2026」のもと、経営資源の効率的な配分による事業ポートフォリオの最適化を図るため、ホテル事業のうち、空知リゾートシティが運営する「ホテルサンプラザ」の運営事業を譲渡することといたしました。

（４）事業譲渡日

2026年７月１日

（５）法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を無償とする事業譲渡

２．実施した会計処理の概要

（１）譲渡損失の金額

34,797千円

譲渡損失の金額には当四半期連結累計期間までに発生した、事業譲渡に関連するその他の費用を含めております。

（２）譲渡した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産　－千円
固定資産　０千円
資産合計　０千円
流動負債　－千円
固定負債　－千円
負債合計　－千円

（３）会計処理

「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第７号　2013年９月13日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号　2019年１月16日）に基づき、会計処理を行っております。

３．譲渡した事業が含まれていた報告セグメント

ホテル事業

４．当四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている譲渡した事業に係る損益

売上高　　152,956千円
営業損失　　15,144千円

（重要な後発事象）
該当事項はありません。